



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京ドーム

コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久代 信次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小田切 吉隆

TEL 03-3811-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年6月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	17,641	△6.4	1,572	△29.9	1,129	△37.4	777	△62.8
26年1月期第1四半期	18,842	4.0	2,243	45.5	1,805	82.6	2,090	165.4

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △2,081百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 11,067百万円 (628.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	4.08	—
26年1月期第1四半期	10.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第1四半期	301,780	71,395	23.7	374.50
26年1月期	304,595	74,432	24.4	390.42

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 71,395百万円 26年1月期 74,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	△4.8	4,300	△28.8	3,000	△35.2	2,000	△56.7	10.49
通期	79,200	△5.2	8,900	△24.1	6,300	△32.4	3,800	△53.0	19.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期1Q	191,714,840 株	26年1月期	191,714,840 株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	1,071,047 株	26年1月期	1,068,640 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期1Q	190,645,113 株	26年1月期1Q	190,738,379 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、東京ドームにおける野球・コンサートイベントが前年同期比で減少となりました。

以上の結果、売上高は176億4千1百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業利益は15億7千2百万円(前年同四半期比29.9%減)、経常利益は11億2千9百万円(前年同四半期比37.4%減)、四半期純利益は7億7千7百万円(前年同四半期比62.8%減)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、人工芝の入れ替えによりコンサートイベントの開催日数が前年同期比で5日減少し、また前年開催されたWBCが行われなかったことにより、減収となりました。

(東京ドームシティアトラクションズ)

東京ドームシティアトラクションズは、ジェットコースター「サンダードルフィン」の営業再開に加え、ヒーローショーの好調もあり、増収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、宿泊部門が売上・客室稼働率ともに好調に推移したものの、東京ドームにおける野球・コンサートイベント減少の影響を受けてレストランが苦戦し、減収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、スパのリニューアルに伴う休館日、およびテナントの入替えに伴う休業区画が前年同期比で減少したことに加え、スパ・テナントともにリニューアル効果が継続しており、増収となりました。

(黄色いビル)

黄色いビルは、日本中央競馬会に賃貸している一部フロアの返還により減収となりましたが、その跡地に屋内型スポーツコンプレックス「スポドリ！」をオープンしています。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は128億5千1百万円(前年同四半期比8.2%減)、営業利益(セグメント利益)は24億5千7百万円(前年同四半期比18.6%減)となりました。

<流通>

ショップインは、消費増税前の駆け込み需要により、増収となりました。

以上の結果、売上高は17億7千6百万円(前年同四半期比1.4%増)、営業損失(セグメント損失)は△1千6百万円(前年同四半期比1千9百万円の改善)となりました。

<不動産>

松戸公産㈱が所有する「代々木イーストビル」の原状回復費用分が前年同期比で減収となったものの、㈱東京ドームが所有する「相模原ビル」のテナントが稼働し、ほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、売上高は3億8千万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益(セグメント利益)は1億2千8百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

<熱海>

熱海後楽園ホテルは、個人・グループ客が増加したものの、団体需要が減少したため、減収となりました。

以上の結果、売上高は9億6千8百万円(前年同四半期比6.8%減)、営業損失(セグメント損失)は△0百万円(前年同四半期比3千8百万円の減益)となりました。

<札幌>

東京ドームホテル札幌は、宿泊部門のWEB販売およびインバウンドが好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は5億8千5百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業損失（セグメント損失）は△6千3百万円（前年同四半期比1千3百万円の改善）となりました。

<競輪>

松戸競輪場は、過年度分の運営受託収入が前年同期比で減少したため、減収となりました。

以上の結果、売上高は5億8百万円（前年同四半期比21.6%減）、営業利益（セグメント利益）は7百万円（前年同四半期比95.1%減）となりました。

<その他>

㈱東京ドームスポーツにおける、指定管理者制度による運営受託の増加により、増収となりました。

以上の結果、売上高は8億3千6百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益（セグメント利益）は8千9百万円（前年同四半期比43.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、株価の下落による投資有価証券の減少により3,017億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ28億1千4百万円の減少となっております。

なお負債は、社債の償還を行いました。また、コマーシャルペーパーを新規に発行したことから2,303億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円の増加となっております。

また純資産は、その他有価証券評価差額金の減少により713億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億3千6百万円の減少となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間以降には、東京ドームにおけるコンサートイベントをはじめとするイベントの開催が堅調に推移するものと見込まれるため、通期の業績予想については平成26年3月13日の発表値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,306	12,314
受取手形及び売掛金	2,373	2,952
有価証券	226	226
たな卸資産	1,322	1,511
繰延税金資産	1,897	1,755
その他	1,233	2,508
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	21,357	21,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	212,210	212,873
減価償却累計額	△123,072	△123,702
建物及び構築物(純額)	89,137	89,171
機械装置及び運搬具	14,756	14,890
減価償却累計額	△11,665	△11,785
機械装置及び運搬具(純額)	3,091	3,104
土地	143,794	143,794
建設仮勘定	318	556
その他	19,674	19,846
減価償却累計額	△15,476	△15,743
その他(純額)	4,198	4,102
有形固定資産合計	240,540	240,729
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	386	380
その他	146	145
無形固定資産合計	958	951
投資その他の資産		
投資有価証券	33,513	29,633
長期貸付金	855	870
繰延税金資産	2,818	3,873
その他	3,026	3,037
貸倒引当金	△145	△144
投資その他の資産合計	40,069	37,270
固定資産合計	281,568	278,951
繰延資産		
社債発行費	1,668	1,564
繰延資産合計	1,668	1,564
資産合計	304,595	301,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	712	1,013
1年内償還予定の社債	28,100	26,538
短期借入金	30,433	29,764
未払法人税等	645	180
賞与引当金	371	662
役員賞与引当金	30	7
ポイント引当金	167	172
商品券等引換引当金	8	8
固定資産除却等損失引当金	535	486
その他	15,573	25,886
流動負債合計	76,580	84,719
固定負債		
社債	54,005	49,020
長期借入金	60,230	57,964
受入保証金	3,043	3,007
繰延税金負債	53	19
再評価に係る繰延税金負債	30,760	30,760
退職給付引当金	3,136	3,029
執行役員退職慰労引当金	139	114
その他	2,215	1,749
固定負債合計	153,582	145,665
負債合計	230,163	230,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	11,332	11,156
自己株式	△465	△466
株主資本合計	13,683	13,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,160	7,394
土地再評価差額金	50,956	50,956
為替換算調整勘定	△367	△461
その他の包括利益累計額合計	60,748	57,889
純資産合計	74,432	71,395
負債純資産合計	304,595	301,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	18,842	17,641
売上原価	15,242	14,712
売上総利益	3,599	2,929
一般管理費	1,355	1,356
営業利益	2,243	1,572
営業外収益		
受取利息	16	17
受取配当金	54	64
為替差益	89	62
持分法による投資利益	96	58
その他	30	21
営業外収益合計	287	225
営業外費用		
支払利息	535	451
社債発行費償却	156	157
その他	33	58
営業外費用合計	726	667
経常利益	1,805	1,129
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	44
子会社株式売却益	24	—
工事負担金等受入額	—	10
補助金収入	35	50
特別利益合計	61	104
特別損失		
固定資産売却損	7	5
固定資産除却損	36	70
解体撤去費	22	75
特別損失合計	66	151
税金等調整前四半期純利益	1,800	1,083
法人税、住民税及び事業税	166	135
法人税等調整額	△457	170
法人税等合計	△290	305
少数株主損益調整前四半期純利益	2,090	777
四半期純利益	2,090	777

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,090	777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,095	△2,765
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	△93
その他の包括利益合計	8,977	△2,859
四半期包括利益	11,067	△2,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,067	△2,081

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	13,742	1,751	382	1,038	567	648	18,130	711	18,842	—	18,842
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	257	—	1	0	3	0	263	11	275	△275	—
計	14,000	1,751	383	1,038	570	648	18,393	723	19,117	△275	18,842
セグメント利益 又は損失(△)	3,020	△36	115	37	△76	162	3,223	62	3,285	△1,041	2,243

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、（株）東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,041百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,040百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	12,604	1,776	379	967	584	508	16,820	820	17,641	—	17,641
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	247	—	1	0	0	—	250	16	266	△266	—
計	12,851	1,776	380	968	585	508	17,071	836	17,907	△266	17,641
セグメント利益 又は損失(△)	2,457	△16	128	△0	△63	7	2,513	89	2,602	△1,030	1,572

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、（株）東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,030百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,043百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。